

YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

2021年2月12日
February 12, 2021 Edition

【発行】横浜市国際局政策総務課

Yokohama International Affairs Bureau, General Division
企画担当 (Inquiries) 045-671-4700・ki-somu@city.yokohama.jp



【フィリピン・マカティ市消防訓練への支援をオンラインで実施】



マカティ市で横浜市消防局職員による訓練の指導の様子（2019年）

消防局職員がオンラインでフィリピン・マカティ市消防訓練への支援を実施(シティネット事業)

1月19日に、危機管理人材育成支援の覚書を結んでいるマカティ市に対し、シティネット横浜プロジェクトオフィスの協力のもと、消防局職員が訓練への支援をオンラインで実施しました。マカティ市が作成した消防訓練マニュアル用の動画に対して、ウェブ会議形式で技術的な指摘やマニュアル用動画作成へのアドバイスなどを行っています。オンラインを活用した支援は今回で2回目となりますが、マカティ市消防隊員の技術および安全管理への意識が高まっていることが確認できました。

Fire Bureau provides online support for SAR personnel in Makati (CityNet)

On January 19, Yokohama Fire Bureau staff, with the cooperation of the CityNet

Yokohama Project Office, met with their counterparts in Makati, the Philippines, for an online meeting to review training manual videos produced by Makati for instructing their disaster response personnel. Yokohama and Makati share an MOU agreement to support first responder capacity building, and this was the second support project to be held online. Experts from the Fire Bureau provided some technical guidance and shared advice about creating training video manuals, and also affirmed the steady advancements in Makati's Search and Rescue (SAR) techniques and crisis management readiness.

令和3年度国際局予算案のポイント

令和3年度は、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響が見込まれる中、改定国際戦略戦略（令和3年2月議案上程）に掲げる基本目標「未来へつなぐ国際都市・横浜」に向けて、国際事業に取組みます。

1. 外国人材の受入れ・共生の推進 (3126,965千円 2110,962千円) 事業別・6頁

横浜多文化共生総合センター及びここには日本企業支援センターの両施設を盛り込むとともに、国際交流センターの運営を推進して、市民生活の向上と国際交流の促進を図ります。さらに、横浜がユネスコの「創造都市」に認定されたことを受け、海外からの人材の受け入れと、地域活性化を図ります。



2. 公民連携による国際技術協力事業 (Y-PORT) (3113,945千円 2120,000千円) 事業別・6頁

海外企業や国際機関等との連携を促進し、国際技術協力による国際技術協力事業（Y-PORT）の推進を図ります。また、国際技術協力事業の推進を図ります。



3. オンライン等を活用した国際連携の推進 (3125,711千円 2125,711千円) 事業別・6頁

横浜・友好都市をはじめとする世界の各都市と連携し、ともに成長を遂げる国際連携の推進を図ります。また、国際技術協力事業の推進を図ります。



令和3年度国際局予算概要を公開

令和3年度国際局予算概要を市HPで公表しました。3年度は、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響が見込まれる中、今月議案上程予定の改定国際戦略に掲げる基本目標「未来へつなぐ国際都市・横浜」に向けて、「外国人材の受入れ・共生の推進」、「公民連携による国際技術協力（Y-PORT 事業）」、「オンライン等を活用した国際連携の推進」をはじめとする国際事業に取り組み、SDGsの達成及び世界の平和と繁栄への貢献を目指していきます。

2021 International Affairs Bureau budget outline released

The budget outline for the International Affairs Bureau for fiscal 2021 was released on the city website. Giving due consideration to the ongoing challenges of the COVID-19 pandemic, the bureau will promote initiatives that reflect the city's revised international

strategy, scheduled to be adopted this month, to realize Yokohama as an international city of the future. Through supporting foreign workers and residents to foster growth of a multicultural society, enabling international technical cooperation through public-private partnerships (Y-PORT), and using online channels and other technologies to further international relations and exchange, Yokohama will aim to contribute to achieving the SDGs as well as peace and prosperity in the global community.

オンライン開催 横浜市国際平和講演会



国連WFP<2020年ノーベル平和賞受賞> 一飢餓のない世界、そして平和へー (主催：横浜市国際局)

日時 令和3年2月20日(土) 14時～15時
会場 びびりまCITY
参加費 無料
お問い合わせ先: 横浜市国際局政策総務課 TEL:045-671-4700

「国連WFP<2020年ノーベル平和賞受賞>一飢餓のない世界、そして平和へー」横浜市国際平和講演会をオンラインで開催

2月20日(土)14時から、飢餓の解決に向けた活動によって、2020年のノーベル平和賞を受賞された国連世界食糧計画(WFP)の日本事務所代表 焼家直絵さんに、世界で起きている飢餓の現状や国連WFPの活動、誰でもできる課題解決に向けた取組について、オンラインにてご講演いただきました。平和の大切さについて、市民の皆様と一緒に考える機会となれば幸いです。

Online peace awareness event to feature World Food Programme speaker

On Saturday, February 20, from 2 p.m. to 3 p.m., Yokohama presented an online peace awareness event featuring Ms. YAKIYA Naoe, Director of the Japan Relations Office of the UN World Food Programme (WFP), which received the 2020 Nobel Peace Prize. This special event was organized to provide the people of Yokohama an opportunity to contemplate the importance of peace.